

発刊にあたって

このたび『研究報告集第27巻』を刊行することになりました。ご協力を賜りました関係者の皆様に対し、あらためて感謝申し上げます。

本財団は、1991年（平成3年）に設立されて以来、「国内外の医学及び各種の健康法について自然尊重・自然順応の視点で学際的総合的に調査研究を推進し、人間の備える自然治癒力を生かす医学及び健康法の研究成果を普及する」ことを目的に、事業を継続しております。

具体的には、岡田式健康法など、各種健康法と西洋医学を組み合わせた統合医療に関する調査研究を積み重ねてきました。また、その研究成果を基に国が推進する国民健康づくり運動や、各自治体で行われている健康増進への取り組みに貢献すべく、講演会やセミナーの開催および広報活動を通して、地域社会に役立つ事業を実施しています。

近年、少子高齢化が進行し、生活習慣病やストレス関連疾患が増加するなど、さまざまな課題が山積しています。また、障がいの有無にかかわらず、多世代による地域共生社会の実現に向けて地道な取り組みが進められています。

そのような中、本年4月からは、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとして、国民健康づくり運動「健康日本21（第三次）」がスタートします。本巻に収録された「健康」に関する研究論文が心豊かで幸福な個人、家庭づくり、そして、健康なまちづくりに役立つことを願っております。

2024年（令和6年）2月4日

一般財団法人MOA健康科学センター